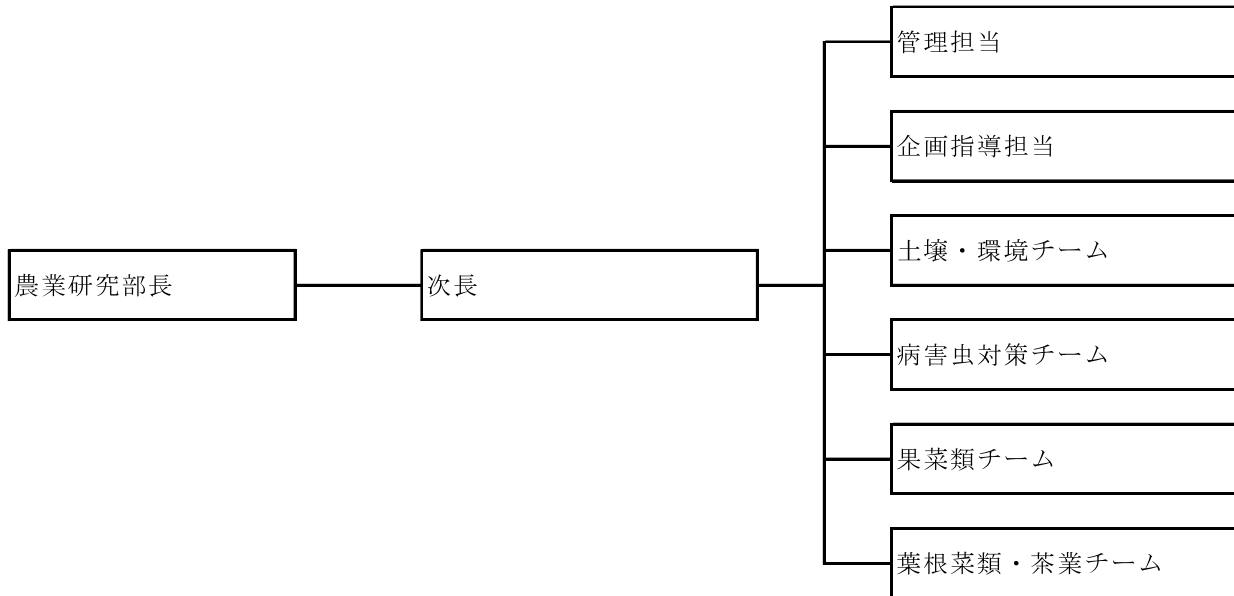


II 各研究部・グループの概要

II-1 農業研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部次	長		1					1	
管	長	1						1	兼センター管理調整監
理	担	5						5	
企	担		7					7	広域普及指導員3名
画	当								
指			7		1			8	
導									
担			9			1		10	
当									
土			8	2		1		11	
壌									
・			6		1	1		8	
環									
境									
チ									
ー									
ム									
病									
害									
虫									
対									
策									
チ									
ー									
ム									
果									
菜									
類									
チ									
ー									
ム									
葉									
根									
菜									
類									
・									
茶									
業									
チ									
ー									
ム									
計		6	38	2	2	3	0	51	

(3) 業務

主な業務

大分県農林水産試験研究基本指針に基づき、「The・おおいた」ブランドを確立するための産地づくりを技術面から支援する。研究課題の設定にあたり、県が推進する園芸戦略品目を中心に生産者や消費者・実需者のニーズを反映し生産現場に直結する栽培法や新品種を開発・改良・実証する。地域未利用資源の新たな活用方法や品質、収量の向上に加えて、省力化技術など課題を解決するための研究を行う。

企画指導担当

- ①生産者に対する研修及び現地指導
- ②農業経営の調査・研究
- ③試験研究の企画調整、進行管理
- ④研究成果のとりまとめ、研究員の育成

土壌・環境チーム

- ①農産物の安全安心に関する研究
- ②環境に優しい農業生産技術
- ③未利用資源の農業活用技術に関すること
- ④農産物の栄養・機能性成分の調査、分析に関すること
- ⑤肥料取締り分析と農業試験検査事務に係る分析

病虫害対策チーム

- ①安全性に配慮した農産物の生産技術の組み立て
- ②化学農薬の削減による安全・安心な防除技術の開発、実証
- ③難防除病虫害、農薬耐性菌・抵抗性害虫対策の組み立て
- ④病虫害発生予察に基づく、予防的減農薬栽培技術の組み立て、実証
- ⑤マイナー作物への適用農薬の登録推進

果菜類チーム

- ①トマトの周年安定生産技術の研究
- ②夏秋ピーマンの省力安定生産の研究
- ③イチゴ新品種の育成
- ④イチゴ経営体の規模拡大を可能にする新生産方式の開発
- ⑤パプリカの品質・収量向上のための現地実証

葉根菜類・茶業チーム

- ①根深ネギ、ニラ、カンショ、キャベツ等の栽培技術に関する研究
- ②カンショの品種選定、ウイルスフリー苗の供給
- ③茶の栽培および病虫害に関する研究
- ④茶の品種選定

2. 試験研究課題

農業研究部（1／4）

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1）、（1）、①				
I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発				
・ いちごの大規模経営体を育成・支援するための技術開発				
1) イチゴ大規模経営体を支援・育成する生産システムの確立 (1) 大規模経営体における安定出荷のための作型開発 (2) 省力育苗技術の開発 (3) 「大分6号」の生産安定技術の確立	果菜類 チーム	広域普 及指導 員、各 振興局	H28～31	委託、 県単
・ 環境制御技術によるいちごの収量向上				
・ 施設葉菜類のハウス内環境制御技術の確立				
1) 新技術を核とした施設葉菜類の生産安定技術の確立 (1) 冬ニラにおけるハウス内環境制御技術の確立	葉根菜 類・茶業 チーム	中部振興局、 南部振興局	H28～30	県単
・ 革新的な省力栽培技術の開発				
1) 新技術を核とした施設葉菜類の生産安定技術の確立 (1) ベルトプランター利用技術の確立	葉根菜 類・茶業 チーム	-	H28～30	県単
・ 市場動向に対応した輸出用かんしょ生産技術の確立				
1) 市場動向を見据えた露地野菜生産安定技術の確立 (1) 輸出向け小イモ生産技術の確立	葉根菜 類・茶業 チーム	中部振興局、 豊後振興局、 農業大学校	H28～30	県単
・ トマトの低コスト養液栽培システムの開発				
・ 農産物の栄養分・機能性成分の数値化				
1) 夏秋野菜の栄養・機能性成分の数値化 (1) ビーマンの栄養・機能性成分の数値化 (2) トマトの栄養・機能性成分の数値化	土壌・ 環境 チーム	豊肥振興局、西部 振興局、園芸振興 室	H29～31	県単
・ 高付加価値な内容成分を有する輸出用農産物技術の開発				
H29該当無し				
2 ブランド化のための技術開発				
・ いちごの県オリジナル品種の品種登録と普及				
1) 県間連携によるイチゴ新品種の育成 第2期 目的とする特徴を持つ有望系統の選抜 (1) 県間連携による品種育成と栽培技術の確立 (2) 育種効率化のための交配、選抜方法の確立	果菜類 チーム	山口県、鳥取 県、島根県、 広島県、岡山 県、養崎県、 九州農研セ	H28～30	県単
・ いちごの県オリジナル品種の育成				
・ トマト新品種の選定				
1) 「赤採りトマト」の周年供給体制の確立 (1) 品質変動要因の解明と良食味栽培技術の確立	果菜類 チーム	-	H29～31	県単
・ 糖度判定技術の迅速化				
・ 農産物の機能性成分評価に関する研究				
・ 新需要に対応した品種選抜と加工技術の開発				
・ 地域特性に即した品種選定と栽培技術確立				
H29該当無し				
3 マーケットインの商品（もの）づくりを加速のための技術開発				
・ こねぎの冬期増収に向けた栽培技術の開発				
・ 調製機械の効率化のための分析・改良提案				
・ 市場動向に対応した白ねぎの夏秋期安定出荷技術の確立				
1) 根深ネギの夏秋期出荷量不足打開に向けた安定生産技術の確立 (1) 「スーパー大苗」による夏越し作型安定化技術	葉根菜 類・茶業 チーム	西部振興局、 北部振興局	H27～29	県単
・ ドリンク用茶の安定収量確保のため二番茶の収穫適期判定技術の開発				
1) ドリンク茶栽培における収量・品質向上のための総合的管理技術の確立 (1) 二番茶摘採適期予測技術の確立 (2) 更新時期の検討 (3) 省力施肥技術の確立	葉根菜 類・茶業 チーム	なし	H28～30	県単
・ 白ねぎの土壌病害の防除技術の確立				
1) 根深ネギの夏秋期出荷量不足打開に向けた安定生産技術の確立 (1) 萎凋病および白絹病の防除技術 (2) 有効な薬剤の探索 (3) 耕種的な防除対策の確立 (4) 実証試験	病害虫 対策 チーム	北部振 興局	H27～29	県単

農業研究部 (2/4)

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目				
※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、①				
・ 夏秋トマトのすすかび病及び線虫類の防除対策			H29該当無し	
・ 農産物の安全安心に関する研究（薬剤抵抗性害虫の天敵利用技術）				
1) 稲こうじ病、いもち病に対する新たな防除体系の構築	病害虫 対策 チーム	豊肥振 興局	H29～31	県単
(1) 稲こうじ病対策				
(2) いもち病対策				
2) ネオニコチノイド系薬剤抵抗性ワタアブラムシ既発生地における発生実態の解明と生物的防除を核とした薬剤抵抗性管理技術	病害虫 対策 チーム	農研機構果樹 研、農研機構 中央農研、日 本曹達 (株)、宮崎 県、和歌山 県、豊肥振興 局、中部振興 局	H26～30	国庫 (委託プロ)
(1) 大分県におけるネオニコチノイド剤抵抗性ワタアブラムシの発生実態				
(2) ネオニコチノイド剤抵抗性ワタアブラムシの奇主範囲の解明				
(3) 生物的防除資材による防除体系の検討（天敵資材）				
(4) 生物防除資材による防除体系の検討（糸状菌製剤）				
(5) 有効なトラップ資材の検討				
3) 次世代バンカー資材キットによるアブラムシ類基盤的防除技術の実証・普及	病害虫 対策 チーム	農研機構中央 農研、アグリ 総研(株)、 福岡県農林 試、北部振興 局、豊肥振興 局	H28～30	国庫 (農食事業)
(1) コレマンアブラバチとナケルクロアブラバチ混合製剤と次世代バンカー法による防除効果の検討				
・ シソモザイク病及びさび症の防除体系の確立				
1) シソサビダニが引き起こすオオバのモザイク病およびさび症の防除体系確立	病害虫 対策 チーム	法政大学、高 知県、愛知 県、農研機 構、中部振興 局、他	H27～29	国庫 (農食事業)
(1) 農業による防除技術の確立				
(2) 大分県における発生実態調査及び防除マニュアルの実証				
・ 茶の高品質省力栽培・加工技術の開発			H29該当無し	
・ 新資材による低コスト施肥技術の開発				
1) 亜リン酸肥料を用いた夏秋ピーマン安定生産技術の確立	土壌・ 環境 チーム	-	H28～30	県単
(1) 亜リン酸が及ぼす影響解明				
(2) 施肥基準の確立				
・ I P M管理技術を活用した防除体系の確立			H29該当無し	
・ 有機農業の支援			H29該当無し	
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・ 加工・業務用野菜栽培技術の確立				
1) 市場動向を見据えた露地野菜生産安定技術の確立	葉根菜 類・茶葉 チーム	北部振興局、 中部振興局	H28～30	県単
(1) 業務用加工キャベツの周年供給体制の確立				
・ 果菜類の安定生産技術の開発				
1) 「赤採りトマト」の周年供給体制の確立	果菜類 チーム	豊肥振興局	H29～31	県単
(1) 品質変動要因の解明と良食味栽培技術の確立				
(2) 周年多収穫技術の確立				
2) 作業管理システム及び生育予測を核とした大規模施設園芸発展スキームの構築	果菜類 チーム	農研機構野菜 花き研究部 門、農研機構 中央農業研究 センター、北 海道、宮崎 県、地域農 業振興課、 各振興局、 タカヒコア グロビジネ ス、ベスト クラブ	H28～31	国庫 (農食事業)
(1) 優良品種の選定				
(2) 仕立て法の検討				
3) 高単収を実現する環境計測技術の確立、イチゴ大規模経営体を支援・育成する生産システムの確立	果菜類 チーム	九次、長崎 県、佐賀県、 キヤノンマ ーケティング ジャパン、キ ヤノンITソ リューション ズ、産科技 術、赤野農 園、アクト いちごファ ーム、豊洲、 中原農場	H28～31	国庫 (農食事業)
(1) 大規模経営体における安定出荷のための作型開発				

農業研究部（3／4）

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目				
※「研究項目」以下の区分：1）、（1）、①				
・ 夏秋ピーマンの省力・安定生産技術の開発				
1) 夏秋ピーマン産地の時代を担う省力・安定生産技術の確立				
(1) 栽培および出荷調整作業省力化技術の確立	果菜類 チーム	-	H27～29	県単
(2) 夏期の高温対策技術の確立	果菜類 チーム	-	H27～29	県単
・ 低コスト耐候型施設の開発			H29該当無し	
・ 養液栽培における生産安定技術の開発			H29該当無し	
・ 大規模茶園における安定多収穫栽培と品質安定技術（効率的施肥）の開発				
1) 茶試験圃場の育成				
(1) 栄養系適応性試験	葉根菜 類・茶業 チーム	農研機 構 果茶 研、病 害虫対 策チー ム 他	H28～30	受託、 県単
(2) 育成系統の地域適応性試験・短期被覆適性試験				
(3) チャの主要病害虫防除対策試験				
・ 高品質・安定生産・省力化のための茶園管理技術の開発			H29該当無し	
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
・ 環境に優しく地域資源を活用した農業生産技術の開発				
1) 地域資源「大麦焼酎粕」活用技術の確立 ～普通作物・野菜における焼酎粕濃縮液の肥料成分利用技術の開発～	土壌・ 環境 チーム	水田農 業グ ループ、北 部振興 局	H27～29	県単
(1) 濃縮液特性解明				
(2) 環境に及ぼす影響解明				
(3) 現地実証試験				
2) 製鋼スラグを利用した野菜類栽培における多面的効果の検証	土壌・ 環境 チーム	病害虫 対策 チーム	H28～30	県単
(1) 病害発生抑制効果の確認				
(2) 品質向上効果の確認				
(3) 環境負荷への影響検討				
II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
・ 農業情報の提供（生育状況、気象データ）				
1) 経営マインドを持った力強い担い手の育成及び定着支援	企画指 導担当	地域農業振興 課、新規就 業・経営体支 援課、各振興 局	H29	県単
(1) 新規就農者の経営安定及び定着				
2) 農業情報の提供（気象データ）	企画指 導担当	水田農業グ ループ、果樹 グループ、花 きグループ	長期	県単
・ 土壌情報の活用				
1) 農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	土壌・ 環境 チーム	振興局集落・ 水田班、野菜 班、畜産班	長期	国庫委託
・ 土壌肥料検査業務	土壌・ 環境 チーム	-	長期	県単、 一部委託
・ 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援	土壌・ 環境 チーム	-	長期	県単、 一部委託
・ 病害虫発生予察情報（普通作・野菜・果樹・茶）				
1) 病害虫発生予察事業	病害虫 対策 チーム	-	H28～30	県単、 一部国 庫
(1) 発生予察技術支援対策				
2) チャの病害虫防除に関する研究	葉根菜 類・茶業 チーム	東部振興局、 中部振興局、 北部振興局、 病害虫対策 チーム	長期	県単
(1) チャの主要病害虫防除対策試験				

農業研究部（4 / 4）

試験研究課題名 I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1）、（1）、①	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
・ ウィルスフリー苗の作出				
1) イチゴのウィルスフリー苗の育成	果菜類 チーム	-	長期	県単
2) カンショの茎頂培養によるウィルスフリー苗育成	葉根菜 類・茶業 チーム	-	長期	県単
3) カンショの品種選定	葉根菜 類・茶業 チーム	九沖農 研セ	長期	県単
・ 地域固有の動植物の保存	企画指導 担当	各振興局	長期	県単
・ 委託薬剤試験				
1) 安全生産技術に関する研究 (1) 病害虫防除対策	病害虫 対策 チーム	各振興局	長期	県単 一部委託
2) コリアンダーに発生した <i>Alternaria dauci</i> による病害	病害虫 対策 チーム	-	H29	県単
3) チャの病害虫防除対策試験 (1) 農薬委託試験	葉根菜 類・茶業 チーム	日本植物防疫 協会、九防協	長期	受託
・ マイナー作物農薬残留調査	病害虫 対策 チーム	北部振興局、 西部振興局、 大分県薬剤師 協会	H28～30	県単、 一部国庫

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
平成28年度農業研究部試験研究成績書	H30. 3. 30	383	60
平成29年度植物防疫事業成績書（年報）	H30. 3. 31	70	300

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻（号）	掲載頁
田中啓二郎・姫野和洋・ 安倍崇博・後藤英世	大分県におけるシソモザイク病の発生実態調査	九州病害虫研究会報	第63巻	108
世古雅一・田中啓二郎	大分県における白ネギ萎凋病の発消長調査及び防除体系の検討	九州病害虫研究会報	第63巻	109
鈴木智範・山崎修一	大分県の夏秋トマトほ場におけるネコブセンチュウ類の線虫種及び抵抗性の検討	九州病害虫研究会報	第63巻	114
鈴木智範	カーバムナトリウム塩液剤による省力的線虫防除方法の検討	九州病害虫研究会報	第63巻	133
玉井光秀	単肥配合プログラムで養液栽培の肥料代半減！	現代農業	2017年 12月号	202-205
大坪亮介	新開発！ベルトプランター大苗育苗技術	施設と園芸	179号	

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H29. 8. 25	施設園芸新技術セミナー・機器資材展 in 大分	玉井光秀	養液栽培における単肥配合技術を応用した養液組成の量的管理技術
H29. 9. 21	H29 九州農業研究発表会	能見伊久絵	大分県産高糖度ミディアムトマトの成分特性
H29. 9. 21	H29 九州農業研究発表会	武政彰	新規就農者の定着に向けた経営安定手法の検討
H29. 9. 21	H29 九州農業研究発表会	清松慎司	硝酸体窒素追肥がピーマン尻腐れ果におよぼす影響
H29. 9. 21	H29 九州農業研究発表会	佐藤如	イチゴ果房内の花序の順位と開花について
H29. 9. 21	H29 九州農業研究発表会	池永重希子	イチゴ「大分6号」の栽培技術
H29. 11. 8	第93回九州病害虫研究会研究発表会	鈴木智範	夏秋トマト栽培におけるホスチアゼート液剤の適切な処理時期
H29. 11. 21	第39回野菜肥料研究会・平成29年度土づくり研究会	玉井光秀	かん水同時施肥技術に対する今後の期待
H30. 1. 30	H29 九州沖縄農業試験研究推進会議生産環境推進部会	森崎章好	地域資源「大麦焼酎粕」活用技術の確立
H30. 1. 30	H29 九州沖縄農業試験研究推進会議野菜花き推進部会 成績設計検討会	山野秀真	変温管理下における冬春トマトへのCO2施用効果
H30. 1. 30	H29 九州沖縄農業試験研究推進会議野菜花き推進部会 成績設計検討会	清松慎司	高軒高ハウスにおけるパプリカの仕立て本数の検討
H30. 1. 30	H29 九州沖縄農業試験研究推進会議野菜花き推進部会 成績設計検討会	池永重希子	「大分6号」の育苗時施肥の違いが花芽分化に及ぼす影響
H30. 1. 30	H29 九州沖縄農業試験研究推進会議野菜花き推進部会 成績設計検討会	山賀陽子	夏秋ピーマンの有望品種の選定
H30. 1. 30	H30 九州沖縄農業試験研究推進会議野菜花き推進部会 成績設計検討会	上曾山 大	定植時期の違いがイチゴ「さがほのか」の収穫ピーク分散に及ぼす影響
H30. 1. 30	H29 九州沖縄農業試験研究推進会議野菜花き推進部会 成績設計検討会	大仲真喜子	大分県における業務加工用キャベツの4月どりに適する品種および定植時期の検討
H30. 2. 1	第94回九州病害虫研究会研究発表会	姫野和洋・松本翔太・田中啓二郎・久保田健嗣	シソサビダニに対する殺ダニ剤の残効性調査
H30. 2. 1	第94回九州病害虫研究会研究発表会	鈴木智範	ドローン（マルチコプター）農薬散布における薬剤付着状況及び防除効果の検討
H30. 2. 1	第94回九州病害虫研究会研究発表会	野村雄太・山村駿太郎	夏秋ピーマンにおける天敵製剤を用いたアブラムシ類防除
H30. 2. 1	第94回九州病害虫研究会研究発表会	山崎真居・姫野和洋・山村駿太郎	大分県の根深ネギ産地で採集したシロイチモジヨトウに対する各種薬剤の殺虫効果
H30. 2. 15	九州沖縄地区植物防疫関係者研修会	岡本潤	大分県の病害簡易診断の方法について
H30. 2. 16	九州沖縄地区植物防疫関係者研修会	世古雅一	今年度、新規又は特徴的な発生が認められた病害虫について
H30. 2. 21	第2回いちご研究会	佐藤如	イチゴ生産における炭酸ガス施用等の効果的活用技術

(4) 研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
平成29年度第2回農林水産研究指導センター研究状況報告会 (副知事報告「根深ネギの9～11月出荷安定化に向けた大苗利用技術の開発について」)	H29. 12. 20	県庁91会議室	1	58
知事報告(根深ネギの9～11月出荷安定化に向けた大苗利用技術の開発について)	H30. 1. 25	知事室	1	20

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.4.18	病害虫防除員新任者研修会	農業研究部	10	
H29.4.26	普及方法(基礎:前期)研修	農業研究部	15	地域農業振興課
H29.5.16	J A全農視察研修(ハムブリーダー)	農業研究部	4	J A全農おおい
H29.5.17	専門技術研修(基礎・茶)	農業研究部	2	地域農業振興課
H29.5.24	普及指導員専門技術研修(安全農業)	農業研究部	20	地域農業振興課
H29.6.2	病害虫セミナー	農業研究部	18	
H29.6.12	にら視察研修	農業研究部	4	高知県農業試験場
H29.6.13	社会科学習	大分市	165	大分市立西の台小学校
H29.6.20	専門技術(基礎:野菜)研修	農業研究部	5	地域農業振興課
H29.6.20	専門技術研修(基礎・野菜)	農業研究部	2	地域農業振興課
H29.6.22	営農基礎研修会	農業研究部	50	大分県農協同組合中央会
H29.6.22	J A全農営農研修会	農業研究部	50	J A全農おおい
H29.7.11	ピーマンの試験の取り組み	農業研究部	8	宮崎県中部地区営農振興協議会野菜部会
H29.7.25	第49回大分県茶品評会審査会	農業研究部	13	大分県茶業協会
H29.8.16	就農準備研修生に対する就農支援講義	農業大学校	25	農業大学校
H29.8.25	施設園芸新技術セミナー・機器資材展in大分	日田市	1000	(社)日本施設園芸協会
H29.8.28	イチゴの挿し苗技術研修	農業研究部	4	
H29.9.6	専門技術(基礎:野菜)研修	農業研究部	5	地域農業振興課
H29.9.14	ピーマンの新品種について	農業研究部	7	JA豊後大野ピーマン部会
H29.9.25	大分白ねぎ部会宇佐支部視察研修	農業研究部	25	大分白ねぎ部会 宇佐支部生産者
H29.10.3	大分県茶品評会研修会	大分市	50	大分県茶業協会・地域農業振興課
H29.10.6	普及指導員課題解決研修(野菜・基礎)	農業研究部	20	地域農業振興課
H29.10.10	水田畑作物栽培土壌対策およびほ場管理ソフト研修会	花きグループ研修室	30	地域農業振興課
H29.10.19	果菜類の試験研究状況	農業研究部	10	
H29.10.19	農業大学校 就農研修生研修	農業研究部	20	農業大学校
H29.10.23	大分県の畑地土壌について	農業大学校	25	農業大学校
H29.10.30	カンショ機械収穫実演会	豊後大野市	50	豊肥振興局
H29.11.14	課題解決研修(集落営農)	花きグループ研修室	40	地域農業振興課
H29.11.15	課題解決研修(野菜)	農業研究部	25	地域農業振興課
H29.11.15	普及指導員線虫研修	農業研究部	20	地域農業振興課
H29.11.21	第39回野菜肥料研究会・平成29年度土づくり研究会	熊本県	50	全農
H29.11.22	イチゴの栽培管理について	農業研究部	2	
H29.12.8	施肥・防除対策研修会	大分市	150	地域農業振興課
H29.12.12	茶PT	日出総合庁舎ほか	15	地域農業振興課
H29.12.14	イチゴ「さがほのか」先絞り果対策について	農業研究部	2	
H29.12.20	課題解決研修(GAP)	農業研究部	15	地域農業振興課
H30.1.9	大分から広域共販技術者協議会役員会	大分市	8	大分から広域共販技術者協議会
H30.1.16	専門技術(基礎:茶)研修	農業研究部	3	地域農業振興課
H30.1.16	豊後高田市白ねぎ若手生産者研修会	豊後高田市興峰公民館	20	豊後高田市農業ブランド推進課
H30.1.16	豊後高田市白ねぎ若手研修会	豊後高田市	15	豊後高田市
H30.1.17	専門技術研修(基礎・茶)	農業研究部	2	地域農業振興課
H30.1.24	おおいの農業農村施策研修会	県庁	70	農村整備計画課
H30.1.24	イチゴ「大分6号」栽培技術研修会	農業研究部	38	
H30.1.25	九州明日の農業を考える会	別府市	50	九州明日の農業を考える会
H30.2.13	果菜類の試験研究状況	農業研究部	8	JAぎふ青年部
H30.2.15	九州・沖縄地区植物防疫関係者研修会	宮崎市	70	九州農政局、九州沖縄地区病害虫防除所職員連絡協議会
H30.2.20	農薬指導士資格試験認定研修	大分市	150	地域農業振興課
H30.2.21	第2回いちご研究会	福岡市	50	全国農業協同組合連合会 九州営農資材事業所
H30.2.22	茶品質向上研修会	大分市	50	地域農業振興課
H30.3.22	オオバ研修会	大分市	30	中部振興局
H30.3.27	イチゴ新品種ベリーツ(大分6号)農業研究部技術研修会	農業研究部	70	園芸振興室

(2) 受入研修

① 長期研修者受け入れ

対象者	所属	研修内容	期間
学生1名	大分県立農業大学校	茶の栽培及び加工研修	H29.4.24~5.12 H29.10.10~10.26
学生1名	大分県立農業大学校	プロジェクト課題に係る調査・研究等支援、指導	H29.4.3~ H30.1.22
学生52名	大分県立農業大学校	講義「農業と化学」(全7回)	H29.11.28~ H30.1.23

② 生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	29	334
団体等職員	8	269
普及指導員	11	103
学生	1	1 ※大学
児童・生徒	1	30 ※小中高校
海外からの視察者	0	0
その他	29	78
計	79	815

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
日本一の夏秋ピーマン産地の土台を支える技術の確立	IPMによるアザミウマ防除技術のピーマン産地への普及	・生物農薬導入実演会を野津、豊後大野で実施するとともに、病害虫調査を行った。 ・IPM技術導入研修会、夏秋ピーマン連絡協議会青年部研修会、有機農業者養成講座を実施し成果が他産地へも速やかに普及するよう現地指導を行った。 ・天敵製剤も加えた防除暦の提案を行った。
一番茶における適採適期の予測技術について	ドリンク茶法人における一番茶適期摘採予測による収穫計画作成とその実施	茶PT会議や現地調査を実施し、摘採計画を作成した。茶工場の稼働体制に課題も見られたことから、法人間の連携を促すため法人合同品質向上対策研修会の開催など現地指導を行った。
イチゴ大規模経営体を支援・育成する生産システムの確立	県育成品種「大分6号」の普及	「大分6号」の親株を確保し、1haの作付がされた。イチゴ生産者を対象に研修会や現地指導をおこない普及を図った。また、栽培マニュアルを作成した。